

登録コード:MH504200 開講年度:2026		授業科目区分	学科共通専門科目 必修(看護) 選択(検査) 選択(理学) 選択(作業)
科目名	保健・医療・福祉政策論【20M～24M】 Health and Social Care Policies		
担当教員	會田 信子		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻・検査科学技術専攻/2年、理学療法専攻・作業療法専攻/3年 前期 火曜・1時限		
単位数、講義室	2単位	多目的講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		保健・医療職者に必要な社会保障の基礎的知識と体系を理解し、それらが利用者の生活に与える影響と課題を考究できる。
	MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		保健・医療職者に必要な国家試験レベルにおける社会保障の体系と主な制度・法律の全体像を説明できる。
	MH25カリ・保健・検査、MH25カリ・保健・理学、MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・作業		
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		保健・医療専門職者に必要な社会保障の基礎的知識とそれらが利用者の生活に与える影響を説明できる。
	MH25カリ・保健・検査、MH25カリ・保健・理学、MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・作業		
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		社会で派生する多様な健康問題に対して、保健・医療職者の視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に保健医療福祉サービスの課題を考究できる。
	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本授業では、我が国の社会保障制度の構造と基本的内容の理解を目指すとともに、保健・医療・福祉サービスにおける課題や今後の方向性について考察を深めていくことを目的とします。 本科目は、1年次の「健康科学概論」ででてきた施策・制度等の根拠法令を「社会保障」の枠組みから系統的・包括的に学ぶものです。保健医療福祉職が働く現場において、法令がどのように関わり、法令を遵守することがどうして必要なのかを理解することは、プロフェッショナリズムを涵養する点からも重要で、今後の臨地実習での基本的な知識となります。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。 本授業は、担当教員の医療機関や高齢者施設での看護師としての実務経験を活かして講義を行います。		
授業計画	第1回(4月14日)ガイダンス 第2回(4月21日)社会保障の体系と役割・機能<小テスト1> 第3回(4月28日)個別課題学習:医療法と医療体制<レポート+小テスト> 6/15(月)23:59まで 第4回(5月12日)介護保障 介護保険制度と地域包括ケアシステム<小テスト2> 第5回(5月19日)介護保障 介護保険の給付サービス<小テスト3> 第6回(5月26日)高齢者福祉:老人福祉法<小テスト4> 第7回(6月02日)障害者福祉:障害者総合支援法<小テスト5> 第8回(6月09日)児童家庭福祉:児童福祉法,母子及び父子並びに寡婦福祉法<小テスト6> 第9回(6月16日)所得保障 年金保険と社会手当<小テスト7> 第10回(6月23日)所得保障 雇用保険と労働者災害補償保険制度<小テスト8> 第11回(6月30日)所得保障 公的扶助における生活保護制度<小テスト9> 第12回(7月07日)医療保障 医療保障制度と保険診療のしくみ<小テスト10> 第13回(7月14日)医療保障 公費負担医療と国民医療費<小テスト11> 第14回(7月21日)医療保障 高齢者医療制度(高齢者医療確保法)<小テスト12> 第15回(7月28日)単元の総括 授業アンケートの実施 第16回(8月04日)期末試験:8/6(木)23:59までに自宅でeALPSにて実施 本講義は、保健学科対象の『保健・医療・福祉政策論(R6年度入学生以前)』『社会保障論(R7入学生以降)』、人文学部・公認心理師志望学生対象の『関係行政論(選択)』、全学横断特別教育プログラム履修学生の『グローバルコア人材養成コース・ADVANCED(選択)』の3科目合同によって行います。		
授業の進め方	授業は「講義」と「個別課題学習」で進めます。 - 指定テキストと資料、視聴覚教材を用いて進めます。 - 配付資料は事前にeALPSにアップするので、各自で印刷 or ダウンロードして下さい。 - 毎回の講義時に、テキスト、配付資料(eALPSにアップ)、ネット回線に接続できる情報処理端末(スマホ、タブレット、PCなど)を持参して下さい。 テキストの内容は毎年更新されるので「最新版」を購入して下さい。		

テキスト，教材，参考書	【テキスト】 1)医療情報科学研究所(編),公衆衛生がみえる2024-2025(最新版),メディックメディア. 【参考書】 1)會田信子他(編),最新老年看護学(最新版),日本看護協会出版会. 2)結城康博他(編著),わかりやすい社会保障制度(最新版),ぎょうせい. 3)元永拓郎(編著),大御均他(著),第23巻関係行政論(最新版)-公認心理師の基礎と実践-,遠見書房. 4)下山晴彦他(編),公認心理師への関係行政論ガイド(最新版),北大路書房. 上記以外は、授業中に随時、提示します.
成績評価の方法	成績評価は、1)講義後の小テスト40%、2)レポート(個別課題学習)10%、3)期末試験50%の配分比による合計点で実施します。 1)小テスト(計12回) ・テストは、講義終了後もしくは課題学習終了時に実施していただきます。問題数と制限時間は、その都度、eALPSに提示します。 ・小テストは、講義終了翌週の月曜日23:59までに実施して下さい(ただし第3回の小テストのみ別指定)。 ・小テストは、複数回の実施を認めますが、評価には平均点を採用します。 ・小テスト中、資料等の閲覧は可能です。ただし、制限時間があるのでご注意ください。 ・実施直後は「正誤」と「得点」が表示され、「正答」は提出期限後に『正答と解説』PDFとともに公開します。 ・期限が過ぎた場合は、いかなる理由であっても小テストは実施できません(成績に加点しません)。 2)レポート(個別課題学習) ・授業中に説明します。 3)期末試験 ・小テストの問題から厳選して出題します。問題数と制限時間はeALPSに提示します。 ・複数回の実施を認めますが、評価には平均点を採用します。 ・実施直後は「正誤」と「得点」が表示されます。『正答と解説』は公開しませんので、各講義回の『正答と解説』を参照して下さい。 ・期限が過ぎた場合は、いかなる理由であっても期末試験は実施できません。
成績評価の基準	成績評価の方法の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。 個別課題学習のレポートは、下記の4項目で評価します。 提出期限(60点):指定期限までに、指定された方法で提出されている。 課題内容の適切性(20点):課題に対して適切な内容が記載されている。 文章表現力(10点):誤字脱字がなく、主述関係が明確で、適切な文章表現である。 フォーム(10点):指定フォームに準じて作成されている。
事前事後学習の内容	【事前学習】 予習してほしい内容は、各回の講義前にeALPS上でアナウンスします。 【事後学習】 授業資料と一緒に、別紙として新聞記事や学術論文等をeALPSに提示します。講義の復習とともに、社会情勢との関係や今後の課題などを検討して、より理解を深めていって下さい。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします:授業時間30時間(2時間×15回)+自己学習時間60時間(4時間×15回)=90時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	●オフィスアワー 随時とします。事前にメールでアポイントをとって下さい。 會田信子研究室(中校舎3F)aida@shinshu-u.ac.jp ●出席確認 ・出席は「QRコード」と「手書き署名による出席」で確認します(欠席者の代筆等の不正行為はしないでください)。 ・事前に欠席することがわかっている場合は、メールにて、講義担当者に欠席理由を教えてください。事前に連絡できない場合は、後日でも結構です。 ●学習の補充 ・単発的な欠席の場合、いかなる欠席理由であっても、「学習の補充」は特別に課すことはしていません。欠席した時は、eALPSにアップされている配布資料とテキストで自己学習をしてください。 ・欠席が長期間に及ぶ場合は、「学生便覧」の規程に準じた手続きをとって下さい(ただし、自己都合による欠席については学習の補充の対象となりません)。 ・欠席した場合であっても、小テストを期限内に実施すれば、成績にそのまま反映されます。